



「デング熱」

2015年11月

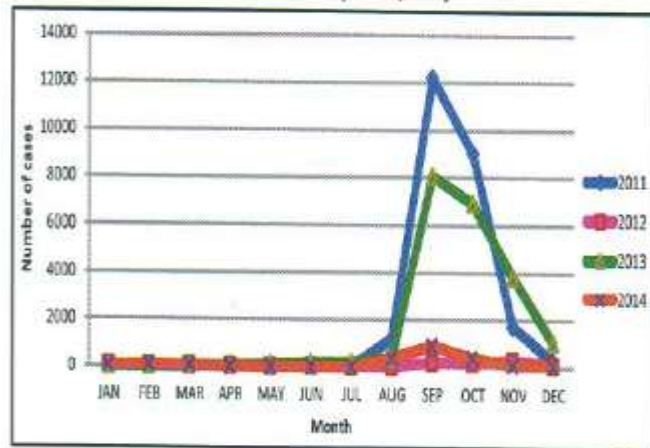
11月に入り、ようやく暑さの峠を越えたようですが、パキスタン保健省の資料(→)によれば、11月が終わるまで、デング熱の発生が続きます。

デング熱は、蚊が媒介するウイルスの病気で、日本のヤブ蚊の仲間の ネッタイシマカ と呼ばれる蚊がカラチのデング熱の犯人です。

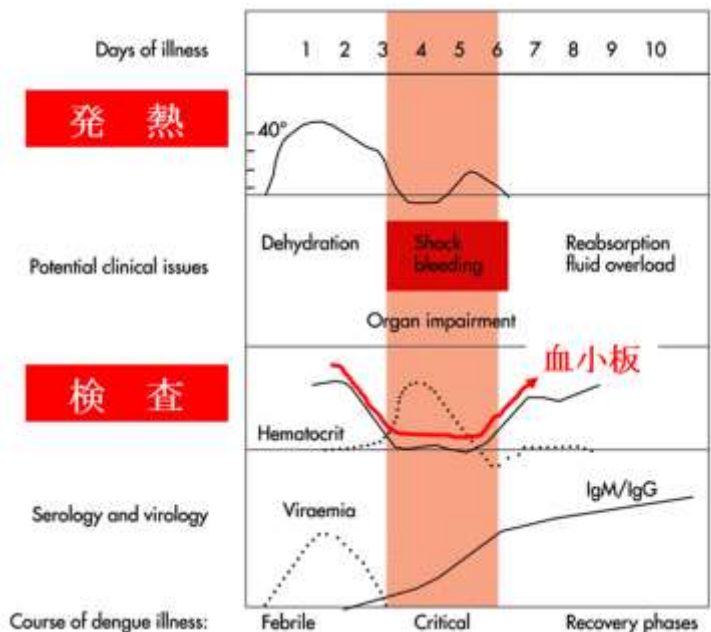
典型的なデング熱の症状とは

- 高熱（突然はじまる）
- 頭痛（眼の奥の痛みを感じる）
- 発疹（発熱より遅れて現れる）
- 関節痛 筋肉痛

Reported Dengue Fever Cases by Month in Pakistan
2011-2014 (n=48,188)



ですが、最も注意しなければならないのは、熱が下がりだした頃から始まる血液の異常です。



(WHO ウェブサイトより)

血管内の液体成分だけが血管の外に漏れ出し、赤血球の濃度が上昇し、一方、血小板が減り、出血しやすい状態になります。

さらに、血圧が下がると、不安を訴え落ち着きがなくなり、ショック状態になると危険です。

高熱があった場合は、自己判断で解熱剤を使用せず、必ず医療機関を受診して下さい。

デング熱と診断されたときは、熱が下がってからも、医師の指示どおりに通院(入院)して下さい。